

令和6年度第1回 羽村市立羽村第一中学校コミュニティ・スクール委員会会議録

1 日 時	令和6年7月30日（火曜日）午後12時
2 場 所	1階校長室
3 出席者	<p>会長 瀧上</p> <p>委員 三浦（校長）、柴田、指田、石川、山田</p> <p>学校 網野（副校長）</p> <p>地域コーディネーター 若松</p> <p style="text-align: right;">（敬称略）</p>
4 欠席者	なし
5 議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員紹介と挨拶</li> <li>2. 令和6年度 学校運営方針の説明</li> <li>3. 教育課程に関する協議</li> <li>4. 意見交換</li> <li>5. 事務連絡、その他</li> </ol>
6 傍聴者	0人
7 配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料1】レジュメ</li> <li>・【資料2】CS委員会の会議の公開に関する定め</li> <li>・【資料3】羽村のコミュニティスクール</li> <li>・【資料4】令和6年度学校運営方針</li> <li>・【資料5】学校要覧</li> <li>・【資料6】年間行事予定表</li> <li>・【資料7】令和7年度校則の簡素化・多様化スケジュール（案）</li> <li>・【資料8】部活動の地域連携・地域移行</li> <li>・【資料9】制服のモデルチェンジ</li> </ul>
8 会議の内容	<p>（副校長）これから、会議を開会します</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員紹介については昨年度と変わらないのでこのまま進めさせていただきます。今年度もよろしく願いいたします。本日は地域コーディネーターの若松さんにも参加していただきます。</li> </ol> <p>【資料2】『CS委員会の会議の公開に関する定め』の内容は昨年度からの内容のまま変更はないということですのでよろしいでしょうか。委員一同 異議なし。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 【資料4】令和6年度学校運営方針について校長から報告をお願いいたします。</li> </ol> <p>（校長）令和6年度学校経営方針については昨年度承認いただいた</p>

内容で進めさせていただきます。

【資料3】羽村のコミュニティスクールについて、令和6年度のCS委員会の運営について、今年度から全校実施となり、本校は2年任期の最終年になります。引き続き教育課題の解決に向けてご指導をよろしくお願いたします。

今年度のCS委員会のテーマを「地域学校協働本部」との連携と考えています。「地域学校協働本部」と「コミュニティスクール委員会」それぞれの役割を踏まえて推進したいと考えます。

6名のCS委員はブレンとして知恵や方針を立てる役割で、実際にそれを実行するのが「地域学校協働本部」です。

例えば、昨年度から始めた「別室登校支援」については、初年度はCS委員が活動を行っていましたが、継続した活動にしてい く為には「地域学校協働本部」と連携することが大事と考えます。

【資料7】令和7年度校則の簡素化・多様化スケジュール（案）についても続けて説明させていただきます。

昨年度協議させていただいた「校則の簡素化・多様化」については別紙のスケジュールで進めます。留意点として、生徒が「学校をよりよくする為に」考える必要があり、「嫌だから」ではないことが大切と考えています。

【資料9】制服のモデルチェンジについて説明いたします。

昨年度も少し触れさせていただいた案件ですが、制服取扱業者から制服のモデルチェンジについての提案がありました。

既存の制服は昨今の制服とパターンが違い（旧式の制服）汎用の製造ラインと比べて制作時間や価格が難しい状況にあります。制服の見直しをするのであれば、秋までに方向性を決めなくてはならず、実際に購入する保護者、該当する現小学3年生～5年生の保護者からも意見を聞いた方が良いかと考えます。また現在一中に通っている生徒の保護者も意見を聞くべきかと思ひます。後ほどCS委員の皆様のご意見をお聞かせください。

【資料8】部活動の地域連携・地域移行についても皆様の意見をお伺いしたいです。

（副校長）それでは一人ずつ自己紹介を含めて、ご意見をお願いいたします。【委員からの自己紹介については省略】

（委員）部活の地域移行に関しては、情報が少なく判断に迷います。制服については、保護者の意見が大切なのでアンケートの結果を踏まえてCS委員会でもお話しを伺いたひです。

校則については、前回の委員会でも多様化させるための話し合い

をしましたが、生徒の意見を反映させられるのは良いことだと思いますので、ぜひ生徒のアンケート結果も拝見したいです。

(委員) 始めに、部活動については、体力をつけたりストレスを発散させる為に必要なことと思います。学校内の人間関係の中で意見をぶついたりコミュニケーションをとることで学びが深まると思いますが、地域という拡大された人間関係だとそれらが薄まってしまうように感じます。ストレスなどを逆に溜め込んでしまい非行に走ってしまわないか心配です。ぜひ慎重に進めてもらいたいです。

制服については、慣れ親しんだ制服なので変えて欲しくはないですが、価格のことなど多方面のご意見もあると思うので、頑なに反対はいたしません。

(委員) 部活の移行については、最近部活の活動が少なくなっていますが、顧問の先生のご都合などがあるかと存じます。生徒さんの活動が狭められないように、教育委員会には地域移行に関してもう少し積極的に对外発信をしてもらって地域の人材に協力してもらったり、体育協会から人材を派遣してもらったりをしてもらいたい。経費をかけなくてもできることはあると思います。以前も、ソフトボール協会の方に協力をいただいたことがあると思いますので、一中の中で活動を続ける為に考えたいです。

校長先生の方から、OBの方々が木の剪定等を手伝っても良いと聞きましたが、以前はお父様方などにお手伝いいただいたりする時代がありました。PTAなどと協力してお手伝いいただけたら良いと思います。

(委員) 以前は運動会前に「クリーンアップ大作戦」としてPTAが生徒・保護者で草むしりをしていましたが、新型コロナ移行活動がストップしました。PTAが外部の業者をお願いすることで構内美化に貢献していました。現在はいかがでしょうか。

(委員) 現在もPTA予算を組んで業者に依頼しています。

(委員) それは良かったです。しかし業者はお金を必要としています。例えば木の剪定は業者をお願いしたとしても、草むしりなどの作業は誰でもできると思います。そこで提案なのですが、月に一回でも定期的に草むしりをする日を設けてそれを地域の方々に手伝ってもらうのはいかがでしょうか。メリットとしては一中という場所に人が集まり、地域の方々は顔見知りができることでコミュニケーションがしやすくなります。一中としては校内美化がはかどる。また、時間を登校時間にすれば生徒さんたちとの接点ができる良いと思います。

毎月第○曜日の○○時～と決めて活動すれば人が集まりやすい

と思います。

(委員) 以前の校長先生が地域の「花いっぱい運動」に合わせて近隣に草取りなどを呼びかけたりしていましたが、「時間のあるときに来てください。」というやり方だったのでなかなか集まりませんでした。「いつでもどうぞ」は足を運びにくいので定期開催なら集まりやすいと思います。

(委員) 先日、西地区委員会の小学生球技大会にお邪魔させていただきました。一中の生徒さんも男女ともに地域の先輩として小学生のお手伝いに参加している様子を拝見しました。小学生にとっては中学生のお兄さん・お姉さんと話す機会になり、中学生にとっては年下の子供たちと触れ合う機会になり、また親以外の大人たちに色々なことを教えてもらう機会になってとても良いことと思いました。小学生は自分たちが中学生になったときに同じように地域に貢献する人材に育つと思います。地域で育つ子供たちを見られたことは良いことだと感じました。

校則については生徒たちに「より良くするために」ということにポイントを置いていることは重要で良いことと思います。生徒の意見を取り入れながら、進めてもらいたいと思います。

制服については、詰襟などは子供の成長スピードを考えると、どうしても直しや買い替えが必要になり、経済的負担は大きい。また、今の制服家で洗濯できる素材もあり、コストパフォーマンスも良くなると思います。それらも踏まえて、考えるのは良いことだと思います。

別室登校支援についてご意見を伺う機会がありました。別室登校支援は「登校してきた生徒の憩いの場所」なのか「学習支援の場所」なのかはっきりせず、もっと勉強をさせたいが学校の協力がないと難しい。別室登校支援のあり方を考える必要がある。

(校長) 別室登校支援は「学習支援」なのか「居場所」的なものなのか、とても難しい。学校が別室登校支援を運営するとルール決めが必要でCSが運営している今は学校のルールに縛られず生徒が活用できている。学校としては枠にはめすぎないでいられることが理想と考えている。

(委員) 元々の開設理由は、不登校の子供達が学校に来やすくするためだったと思います。学校に来られない生徒が家で一人で過ごさないようにすることや、教室までは入れない生徒のクッション的な役割、午前中の時間に短時間でも学校に来ることで生活リズムを崩さないことが目的だったと思います。

その段階では、勉強に関しては触れておらず、まず「学校に来る」ことが目標だったはずですが、しかしながら、登校すれば勉強を

させたいと思うのは当然で、生徒も勉強がしたいから来るのだと思います。その場にいる生徒が勉強を望むなら希望を叶えれば良いと思いますが、勉強に重きを置くのは根底からずれる。

「学校に行きたいけど行かない」生徒たちが一歩踏み出すためのファーストステップの場所であって、セカンドステップの場所は教員の方達と連携して行かなくてはならないと思う。

(校長) 大前提である、登校を促すことを崩さず進めたいと思います。

(委員) 令和6年度の活動方針である「誰にも優しい学校」「互いに認め合える学校」ということから始まって、色々な課題があると思います。◎制服改訂 ◎部活動 ◎草むしり等の美化運動 ◎校則 ◎別室登校支援 などが議題に上がりました。

急ぎの案件から順に解決して行きながら、全ての案件を解決できるように今後ともよろしく願いいたします。

#### 5. 事務連絡、その他

(副校長) 皆様有難うございました。次回運営委員会の日程を決めたいと思います。

(委員) 校則のアンケート回収が終わった頃が良いと思います。

(副校長) アンケート回収後の9月30日(月)はいかがでしょうか。

(委員一同) 異議なし

(会長) これをもって会議を閉会します。